

基本目標1 子どもの運動・スポーツ機会の充実

10年後の目指す姿

幼児期からの子どもの体力向上方策の推進

○運動遊びなどを通じて、体を使った遊びが好きな子どもたちが増え、運動遊びが楽しいものだと思えることができる。

○幼児期からの運動遊びに関する取組が県内各地で活発になっている。

幼児期からの運動の習慣化

・いろいろな遊びの中で、体を動かすことの楽しさを感じることができるよう、幼稚園・保育所、家庭や地域等で行う運動遊びの取組みを支援します。

・運動習慣の定着の必要性について、乳幼児健診等の機会を活用し保護者等への啓発を行います。

長野県版運動プログラムの普及

・幼児期から中学生期までの成長段階に応じて作成した長野県版運動プログラムが、幼稚園・保育所、学校、家庭や地域のクラブ等で実践されるように推進します。

・「キッズ運動遊びどこでもゼミナール」等の実技講習会の未実施市町村をなくし、プログラムの普及を図ります。

指導者研修の充実

・子どもが楽しく運動に取り組み、体力やコミュニケーション能力等を高められるよう、体育センター等において指導者研修を実施します。

先進好事例の市町村への普及定着支援

・幼児期からの一貫した体力向上策に取り組む市町村の先進事例・好事例を、他の市町村に発信し、その普及を図ります。

学校体育・運動部活動等の充実

○学校や地域でスポーツイベントが活発に開催され、様々な場面でスポーツを楽しむことができる環境が充実している。

○生徒一人一人が体育学習を通じて、運動に関する知識や技能を身に付け、運動をする楽しさや喜びを実感している。

○体育学習を通じて、運動を楽しむ資質や能力を高め、運動をする楽しみや喜びを実感している。

○中学校の運動部活動が適切に行われ、部活動を通じてスポーツの楽しさや喜びを味わい、より豊かな学校生活を送ることができる。

○運動部活動や地域のスポーツなどに積極的に参加し、スポーツの楽しみや喜びを実感するとともに、全国大会や国際大会で活躍し、県民に夢や希望、感動を与えている。

○障がいのある子どもたちが、個々の障がいに応じた適切な運動指導が受けられている。

○障がいの有無にかかわらず、子どもたちが一緒に運動遊びを楽しんでいる。

学校における体力向上に向けた取組の促進

・国体・全国障害者スポーツ大会開催機運の盛り上がりを活用し、運動好きな子どもを増やすとともに体力向上を目指します。また、運動することの楽しさを知ることによる競技スポーツへの誘導を図ります。

・「体力向上プラン」「一校一運動」等、各校の工夫した取組を支援します。

・ながのスポーツスタジアム、体カテスト結果の活用等により、データの分析や適切な目標の設定、記録への挑戦等について支援を行います。

・小中学生の体カテスト及びデータ整理をスポーツ推進委員も共有することにより子どもの実態を把握し、地域のスポーツイベントの工夫に活用できる仕組づくりを検討します。

・運動の楽しさが実感できる授業づくりを推進します。

・小学校における専科教員について、その効果を検証しながら、今後の配置について検討していきます。

・信州型コミュニティスクール等を活用した体育授業のサポート体制を構築します。

・県内で開催されるトップレベルの競技会観戦を授業の一環として実施することを推進します。

体育・保健体育授業の支援

教員研修の充実

・教員の研修機会を拡大し、教員の指導力向上を図ります。

○障がい者スポーツの体験会や障がい者アスリートとの交流会などが積極的に開催されている。

学校体育・スポーツ活動の安全性の確保

・武道をはじめとする学校体育・スポーツ活動に対する指導者の安全意識を高めるため、体育センターや研究協議会等での研修を充実させ、安全で効果的な活動を推進します。

・スポーツ活動中の頭頸部外傷事故が発生した際の適切な処置方法の普及を促進し、重篤事故の防止に努めます。

・高校生の冬山・春山での登山活動を安全に行うため、「長野県高校生の冬山・春山登山における安全確保指針」の普及に努めます。

・地域の指導者等の積極的な活用による指導体制の充実や施設の整備・安全確認等について支援します。

適正で効果的な運動部活動の推進

・「長野県中学生期のスポーツ活動指針」に基づく発達段階に応じた適正で効果的な活動を通して、運動好きで生涯にわたり運動に親しむことができる子どもの育成をめざします。

・生徒の多様なニーズや部員数の減少等に対応するため、部活動指導員の導入、複数種目を総合した総合部活動や複数校による合同部活動等、地域の実情に合った運動部活動の体制づくりの推進を支援します。

・総合型地域スポーツクラブ等と連携した外部指導者の導入を積極的に推進し、質の高い活動や指導力の提供に努めます。

・体育センターでの研修講座等により、発達段階に応じた適切な指導ができるよう指導力の向上を図ります。

障がいのある児童生徒に対する支援

・特別支援学校などにおいて、児童生徒の「個別の指導計画」に基づき一人ひとりのニーズや適性に応じた指導・支援の充実を図ります。

・障害のある児童生徒とない児童生徒の「交流及び共同学習」において、ともに体育や運動を行うことにより交流を深める取組を推進します。

・トップアスリートとの交流等を通じ、パラリンピック等の障がい者スポーツを志向できる環境づくりを推進します。

子どもを取り巻くスポーツ環境の充実

○運動が好きな子どもたちが増え、休み時間や放課後に校庭や公園などで遊ぶ子どもたちが増えている。

○地域のスポーツ活動やスポーツ少年団の活動に積極的に参加している。

○余暇時間等を利用し、自ら様々なスポーツに挑戦し、スポーツを楽しむ能力・習慣が身についている。

○子どもたちが安全に遊べる場所が身近にあり、外で楽しく遊ぶことができる環境が整っている。

子どものスポーツ環境の充実

・学校体育以外でも運動をしたい子どもや、運動習慣が身につかない子どもなど、多様な子どもの受け皿となるスポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブ等の地域スポーツクラブの充実を図り、全ての子どもに運動機会を提供できる環境を整えます。

・体育センター、教育事務所等の実技指導、研修を充実し、子どものスポーツ活動を支える指導者を支援します。

・県立武道館を核として、武道団体や各地の武道施設と連携し、子どもたちが武道を観る機会や体験する機会を提供します。

魅力ある自然体験学習を安全に実施するための研修の充実

・山岳総合センターでの研修講座等を通して、子どもが安全で楽しく野外活動ができるよう指導者の研修を推進します。

○地域や学校で子どもたちが体を動かして遊ぶ場所が整備されている。

○仲間同士で気軽に楽しめるスポーツ施設が地域に整備されている。

○親子で参加できるスポーツイベントなど、親子で楽しめる運動遊びの機会が充実し、スポーツを通じて親子の絆が深まっている。

○学校や地域でスポーツイベントが活発に開催され、様々な場面でスポーツを楽しむことができる環境が充実している。

○地域のプロスポーツチームの試合観戦や県内で開催される各種スポーツ大会の応援などに参加し、みるスポーツの楽しさを実感している。

○プロスポーツ大会、全国大会、世界大会等の様々なスポーツ大会が県内各地で開催されている。

○障がい者スポーツの体験会や障がい者アスリートとの交流会などが積極的に開催されている。

公園・遊具、体育施設の充実

親子参加型スポーツ体験の充実

女子児童生徒への適切な対応

障がいのある子どもの運動機会の充実と障がい者スポーツに対する理解の促進

・子どもの遊びや体育活動が安全・快適に行えるように、公園の遊具の整備や運動施設の耐震化、ユニバーサルデザイン化等を図ります。

・休日などに親子で参加できるスポーツ大会の開催を増やし、運動に親しむきっかけづくりを図るとともに親子の絆を育む取組を推進します。

・県内で開催されるプロスポーツをはじめとするトップレベルの競技を親子で観戦する機会を増やし、スポーツについて親子で語り合うことによりスポーツ関心度を高めます。

・成長期にある女子児童生徒特有の課題を整理し、スポーツに参加しやすい環境の整備を進めます。

・全国障害者スポーツ大会の認知度向上と開催機運の醸成に努めます。

・障がいのある子どもを対象とした、スポーツ体験会を充実します。

・障がいのある子どもの保護者に対し、スポーツを行う意義の啓発を行います。

・障がいのある子どもが運動する際に、障がいの程度や種類に応じて必要な配慮がなされるよう、関係者や保護者の障がいに対する理解を促進します。

・障がいのある子どもとない子どもと一緒にスポーツできる環境づくりを推進します。

・小中学生・保護者を対象に、障がい者スポーツの体験会を開催し、障がい者スポーツや障がい者の社会参加に関する理解促進を図ります。

基本目標2 生涯を通じたスポーツ機会の充実

10年後の目指す姿

ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

○育児や仕事の合間や休日等の余暇を有効に使い、家族や仲間とスポーツ活動を楽しみ、心身の健康を保っている。

○気軽に参加できるスポーツイベントなどが地域で開催され、スポーツに親しむ機会が充実している。

○余暇活動として仲間とスポーツを楽しんだり、積極的にスポーツイベントに参加するなど、スポーツをする習慣が身に付き、充実したスポーツライフを送っている。

○仕事などの合間にできる手軽な運動を日常生活に取り入れ、体力や健康を維持している。

○地域のプロスポーツチームの試合観戦や県内で開催される各種スポーツ大会の応援などに参加し、みるスポーツの楽しさを実感している。

○地域のスポーツに積極的に参加し、総合型地域スポーツクラブなどでスポーツを楽しんだり、またスポーツボランティアとして地域のスポーツを盛り上げる原動力となっている。

施策の展開

ライフスタイルに合ったスポーツの普及

・国体・全国障害者スポーツ大会開催機運の盛り上がりを契機に、県民の「するスポーツ」の拡大を図ることにより、健康づくりの推進を図ります。

・長野県レクリエーション協会等と連携し、軽運動やニュースポーツなど気軽にできる運動・スポーツを普及し、余暇時間に運動・スポーツに親しむ習慣を身に付けることを推進します。

・余暇時間が少ない若い世代が、その余暇時間をできるだけスポーツに充てるよう、スポーツに興味を持つような働きかけを推進します。

働き盛り世代の運動機会の拡充

・働き盛り世代の健康増進のため、企業等と連携し運動機会の拡充を図ります。

女性向けスポーツ機会の拡充

・運動時間が不足しがちな育児中の女性が心身の健康を保つための運動など、女性のニーズや意欲に合ったスポーツ機会の提供を促進します。

「みるスポーツ」の普及

・県民の「みるスポーツ」の習慣化を促進し、国体・全国障害者スポーツ大会の開催機運を醸成します。

・県内で開催される世界大会や全国大会の情報を積極的に発信し、トップレベルの競技を身近で観戦することにより、スポーツ実施者や観戦者の増加を図ります。

・県内に本拠地を置くプロスポーツチームのファン・サポーターを増やし、県内で開催される試合の観戦者増を目指します。

・本県出身のプロスポーツ選手やトップアスリートの活躍を広く県民に広報し、県民のスポーツへの関心度を高めます。

スポーツボランティアの活動機会の充実

・県民の「ささえるスポーツ」の習慣化を促進し、国体・全国障害者スポーツ大会のボランティア確保につなげます。

・各種スポーツイベントへのスポーツボランティアの参加を促進し、地域スポーツクラブ等での継続的なボランティア活動を行う人材の育成を図ります。

・スポーツボランティアの希望率が高い若者世代が参加しやすい環境整備を進めます。

・学生やシニアなどの地域住民が、ボランティアとして障がい者スポーツの支援に参画するよう、関係機関と連携して取り組みます。

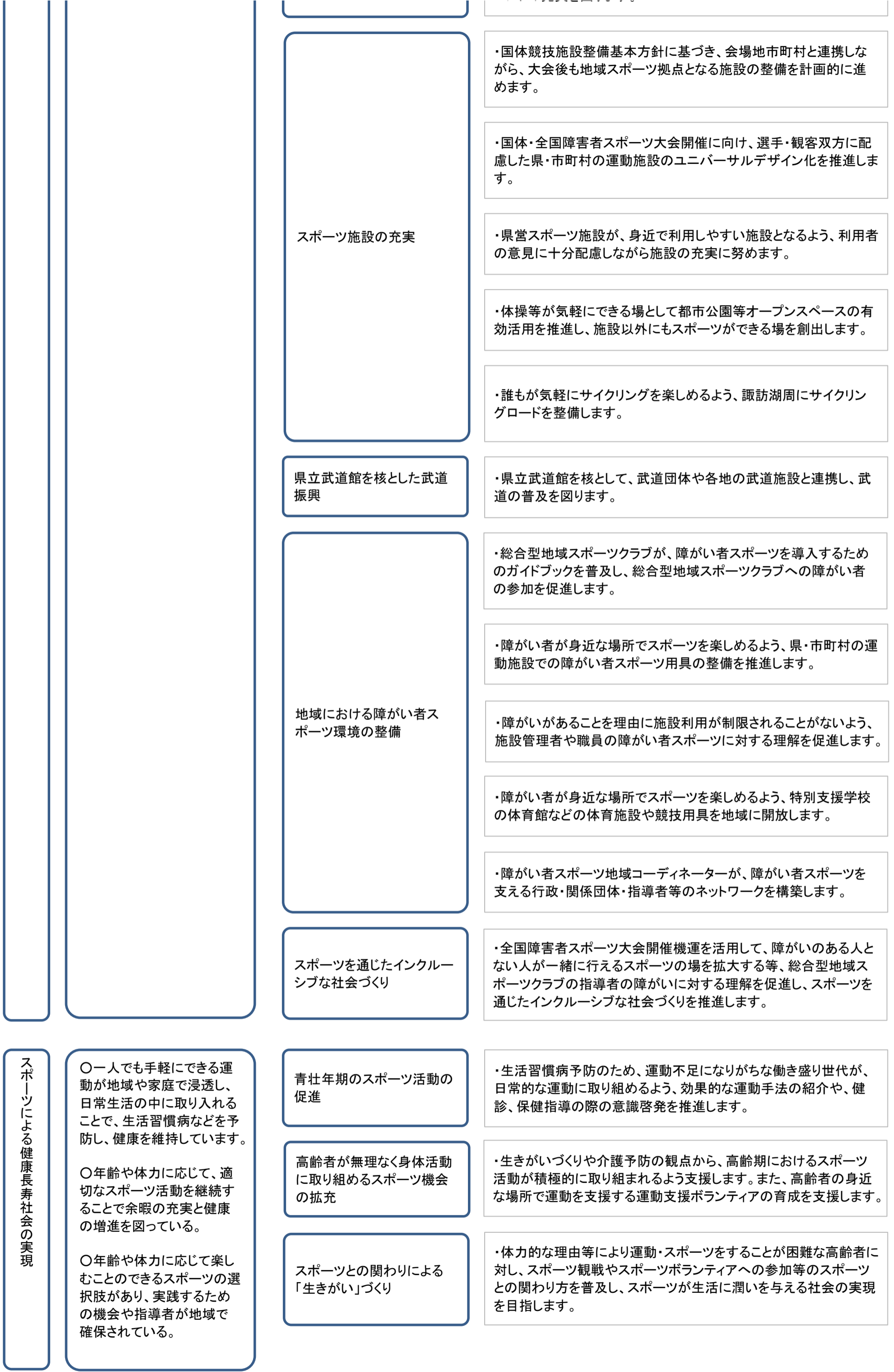
障がい者のスポーツ参加機会の拡大と理解促進

・障がい者が、心身の状況に応じた運動やスポーツができるよう、様々なスポーツの体験教室を開催します。

・多くの障がい者が参加できるよう、障がい者スポーツ大会を充実します。

・スポーツ体験会やセミナーの開催を通じて、障がい者及び介護者

			等に対し、スポーツの意義を啓発します。
			・ホームページやメールマガジン、県・市町村広報誌などを通じ、障がい者スポーツに関する情報の発信を行い、障がい者スポーツに対する理解を促進します。
		総合型地域スポーツクラブと連携した障がい者のスポーツ参加機会の拡大	・特別支援学校の生徒が、卒業後に継続してスポーツを行うことができるよう、特別支援学校と総合型地域スポーツクラブが連携して取り組みます。
地域のスポーツ環境の整備	○スポーツ推進委員がコーディネーターとなり、地域スポーツが活性化している。	スポーツ推進委員の活動支援	・スポーツ推進委員が、学校、地域、スポーツ団体及び民間スポーツクラブ等の橋渡し役となり、地域スポーツのコーディネーターとして活動できるよう、市町村との連携のもと、その活動を支援します。
	○総合型地域スポーツクラブなどへの参加が増え、地域のスポーツを支える人材や指導者候補者が地域で育っている。	総合型地域スポーツクラブの育成と安定運営に向けての支援	・地域のスポーツ活動を支える中核組織である総合型地域スポーツクラブの自立的な運営を支援するため、関係団体と連携し中間支援組織の整備を目指します。
	○仲間同士で気軽に楽しめるスポーツ施設が地域に整備されている。	地域スポーツ拠点のマルチ化	・県体育センターにおいてアシスタントマネージャー養成講習会を開催し、総合型地域スポーツクラブの運営に関わる中心的人材の育成を推進します。
	○障がいの程度に応じて楽しめるスポーツが普及し、それぞれに応じたスポーツを楽しんでいる。	地域スポーツ指導者の養成	・公民館、文化施設、商店街のコミュニティスペース等において、従来から行っている生涯学習・文化・地域活動に加えて、新たにスポーツ活動を行う取組を支援することにより、スポーツ無関心層等が気軽に参加できる環境整備を促進します。
	○障がい者スポーツ経験者が指導者として地域で活躍し、地域スポーツイベントなどを通じて、障がいへの理解が深まり、障がい者が地域でともに暮らす意識が醸成されている。	スポーツにおける安全の確保	・県体育センター等の生涯スポーツ研修により、地域のスポーツ活動を支える指導者の育成を図ります。
		スポーツイベントの充実	・スポーツで活躍した元選手やスポーツ指導法を学んだ大学卒業生が、総合型地域スポーツクラブ等においてスポーツ指導に従事できるような環境づくりを研究します。
			・スポーツ経験者が休日等の余暇時間に指導者として活動できる環境整備を進めます。
			・障がい者スポーツ指導員の養成講習会を開催します。
		・スポーツ推進委員や総合型地域スポーツクラブへの障がい者スポーツの知識と理解の普及を進めます。	
		・県体育センター、長野県体育協会、長野県障がい者スポーツ協会等が実施する各種研修の機会を通じて、最新のスポーツ医・科学的知見に基づくスポーツ事故・外傷・障がい特性等に関する専門的知識の普及・啓発に努め、未然防止の取組を推進します。	
		・市町村やスポーツ団体に対し、AEDの設置の確認や不測の事態が生じた際に速やかにAEDを使用できる体制整備を図るよう普及啓発します。	
		・「信州チャレンジスポーツDAY」、「長野県障がい者スポーツ大会」、「信州ねりんピック」等、広く県民が参加しスポーツを実施できるイベントの充実を図ります。	



基本目標3 全国や世界で活躍する選手の育成

選手の育成強化、指導者養成による競技力向上

10年後の目指す姿

- 全国や国際舞台で活躍する可能性のある選手を発掘する体制が整備されている。
- トップアスリートとの交流イベントやスポーツ教室などを通じて、トップスポーツへ夢や憧れを抱いている。また、トップアスリートの指導を受けることで競技力が向上している。
- 競技スポーツに取り組む学生が、練習設備や支援体制の整った環境の中で、練習に取り組むことができ、最先端の医科学サポートや、より専門的な指導を受けることで競技力がさらに向上し、全国大会や国際大会で活躍している。
- ICTや最先端スポーツ医・科学を利用したトレーニングが一般競技団体間に普及し、より効果的・効率的な選手育成が図られている。
- 異種競技間の交流や合同トレーニングの機会が増え、異種スポーツの知識や技術の活用、選手のトランスファーのきっかけになっている。

施策の展開

競技団体との連携による選手育成強化

・国体で本県選手が活躍できるよう、「競技力向上基本計画」に基づき、競技力向上対策本部を中心に選手育成・指導者養成等を行います。

ジュニア選手の発掘・育成の推進

・全国障害者スポーツ大会で、本県選手が活躍できるよう選手の育成を行います。

・小・中学校と連携し、運動能力の高い子どもを発掘する体制を整備します。

トップアスリートとの交流による競技意欲の喚起

・世界で活躍する冬季オリンピックメダリストを見出し、育成を目指すSWANプロジェクトを推進します。また、同プロジェクトの共通プログラム等を他種目競技選手の育成にも活用します。

・トップアスリートとの交流イベントやスポーツ教室等を開催し、子どもたちがトップスポーツへ夢や憧れを抱き競技を続ける意欲の喚起を促します。

一貫指導体制の充実

・各競技の一貫指導体制によるジュニア世代からの選手強化を支援します。

総合的強化拠点の整備

・国体・全国障害者スポーツ大会開催後も成績を維持できる選手の育成・強化体制の整備を進めます。

・県内の大学・企業等と連携し、ICTや最先端のスポーツ医・科学を利用したトレーニングが受けられる総合的強化拠点の整備を進めます。

競技者へのマルチサポートの推進

・各競技の強化合宿や強化練習等へのスポーツドクター、トレーナー、栄養士等を派遣し、競技者のコンディショニング調整をサポートします。

・競技者、指導者が体力や健康状態を正確に把握し、ドーピング防止等医科学の面からサポートします。

異種競技間交流・合同トレーニングの推進

・異種競技間の交流や合同トレーニングの機会を増やし、異種スポーツの知識や技術の活用や、選手のトランスファーを進める取組を支援します。

女性アスリートへの支援

・女性特有の課題に着目した医・科学サポート等の支援方法の研究を進めます。また、女性指導者の育成に努めます。

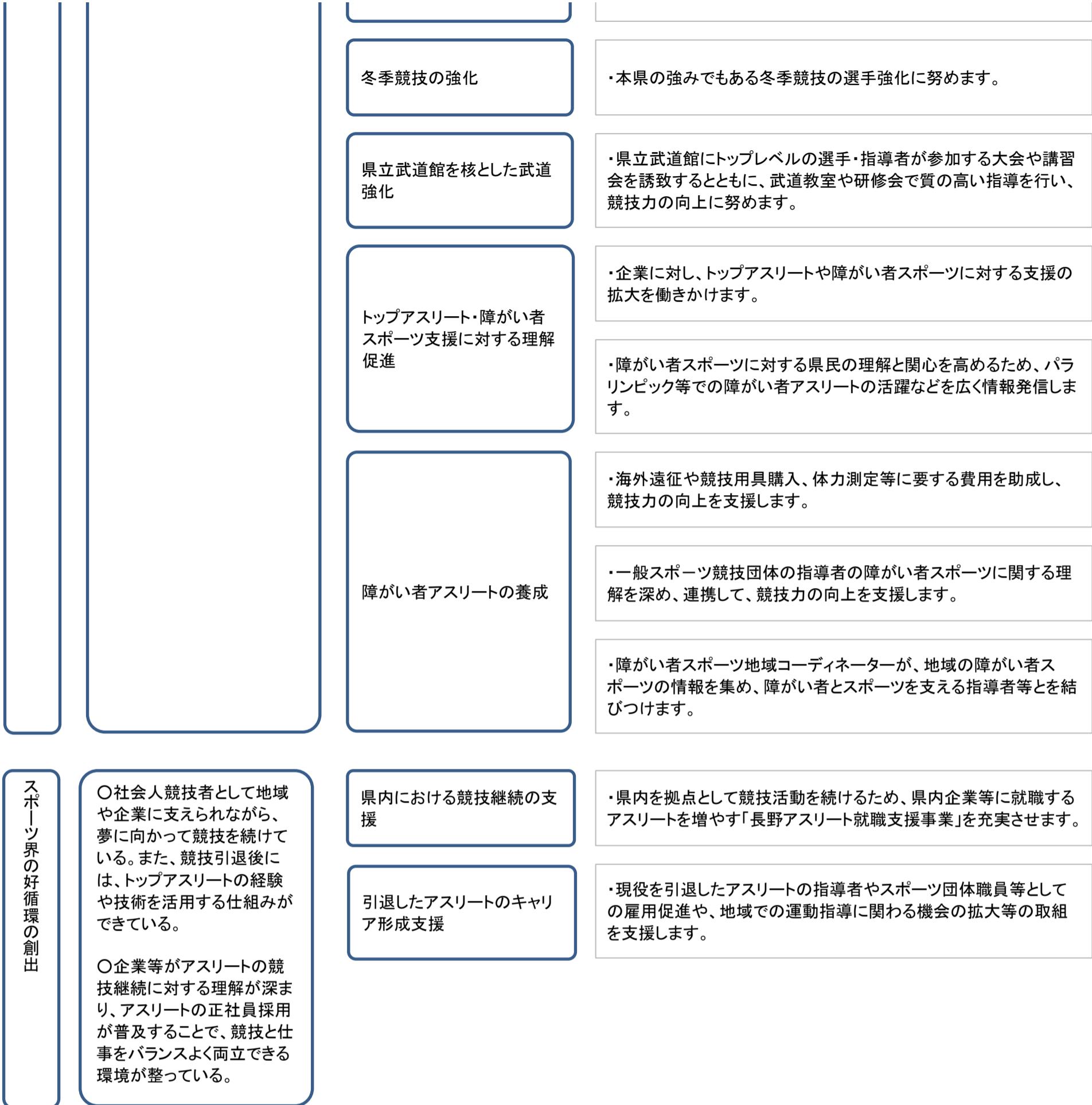
指導者養成の取組への支援

・長野県体育協会と連携し、各競技団体における指導者育成を支援するとともに、指導内容の質の向上につながる最先端指導術等の普及に努めます。

・有力選手の県外流出に歯止めをかけるため、優秀な指導者を育成し、その情報を広く発信します。

審判員の養成

・本県の競技力向上につなげるため、国体・全国障害者スポーツ大会の審判員の養成と技術力の向上を図ります。



基本目標4 スポーツの持つ多面性の活用

	10年後の目指す姿		施策の展開
スポーツイベント・大会等を活用した地域の活性化	○スポーツ大会やスポーツイベントを通じて、県内外・国内外問わず様々な地域間の交流が盛んになっている。	スポーツイベントの充実	・国体や全国障害者スポーツ大会の競技開催地において、当該地域の地域資源と合わせたスポーツイベントの開催等、魅力発信による地域活性化を図る取組を支援します。
		プロスポーツとの連携事業の推進	・「スポーツによる元気な信州づくり包括連携協定」を締結している県内のプロスポーツチーム等と連携・協力して、その知名度・発信力を活かした青少年の健全育成、県民の健康増進、観光振興その他地域の活性化を図る活動に取り組みます。 ・プロスポーツチームが実施する地域の発展に寄与する社会貢献活動等について広く情報発信します。
		国際大会の事前合宿誘致を通じた地域経済の活性化	・ラグビーワールドカップ2019™や、アジアで連続して開催されるオリンピック・パラリンピックの機会を最大限に活かし、そのレガシーが、将来にわたり継承されるよう、長野県スポーツコミッションが核となり、事前合宿誘致に取り組み、観光の振興、地域経済の活性化に結び付けていきます。
長野県の特徴を活かしたスポーツツーリズムの推進	○長野県スポーツコミッションが核となり、スポーツを通じた誘客による地域経済の活性化が図られている。	国際大会等の開催を通じた人々の交流	・長野冬季オリンピック・パラリンピックの遺産を最大限に活かした国際大会等を誘致し、世界中の人々との交流機会を作ります。
スポーツを通じた人々の交流促進	○全国大会、世界大会等の様々なスポーツ大会が県内各地で開催されている。 ○山岳スポーツやウィンタースポーツなどの長野県ならではの魅力あふれるスポーツを楽しむために日本全国・世界各地から観光客が訪れている。	信州ならではのスポーツによる観光誘客	・山岳スポーツやウィンタースポーツ等の信州ならではのスポーツを世界にアピールし、観光客の増加を図ります。
		ホストタウン交流の推進	・2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けた中国を相手国とするホストタウン交流を、官民挙げて取り組みます。

基本目標5 第82回国民体育大会及び第27回全国障害者スポーツ大会の開催に向けた取組

施策の展開

大会開催準備

・国体開催基本方針等に基づき、準備委員会において計画的に開催準備を進めます。